

整理番号	29-15	事務事業名	農村景観づくり事業(補助)	作成部署	経済部農政課	電話	内線853	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	池上 俊廣	課長職名	鈴木 康照	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H13	根拠法令等	北広島市農業振興奨励事業補助金交付要綱					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	農地の遊休化を防止し、農地の有効利用を図るため、景観緑肥作物の導入を支援し、あわせて美しい農村景観の創出を目的とした。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	力強い産業活動が展開されるまち	(第 6 章)
	節	農業	(第 1 節)
	施策	農地の保全	(第 1 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	転作田等の道路沿いの農地	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	農地の遊休化の防止とあわせ、農村景観を創出する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	農家戸数 7件、面積 25,000m <sup>2</sup> /年 作物(ひまわり、ベッチ、マリーゴールド、クリムソンクローバー)の種子等の購入費用を補助する。
		17年度	同上

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	150	120	50	50
	合 計	150	120	50	50
人件費 (概算)	人数(年間)	0.02	0.02	0.02	0.02
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	180	180	180	180
総事業費 +		330	300	230	230

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	実施面積	28,760m <sup>2</sup>	25,000m <sup>2</sup>	25,000m <sup>2</sup>	25,000m <sup>2</sup>
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	実施面積/単年度目標面積25,000m <sup>2</sup>	115%	100%	100%	100%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1m <sup>2</sup> 当りコスト	12円	12円	9円	9円
	(総事業費/面積)				

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	平成13年度より事業を開始しているが、年々市民の景観意識が高まっており、まちの魅力のひとつを形成する景観保全と景観づくりの必要性は高い。
---------------------------------	--

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	美しい景観の提供について、市が行うことは妥当であり、まちの潤いづくりに結びつく。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	景観に対する市民の意識も高まっており、美しい景観に触れることにより、環境美化運動にもつながる。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	転作田等を景観緑肥作物で作付する手法は妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市民の目につきやすい道路沿いを重点に実施している。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	景観作りに合わせて緑肥作物の作付により、病害虫の抑止、肥沃効果による化学肥料の使用抑止効果がある。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	景観に対する農家及び市民意識も高まっており、引き続き実施していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり、景観に対する農家及び市民意識も高まっており、引き続き実施していくが、一定の成果が得られた段階で、終期設定の検討すること。